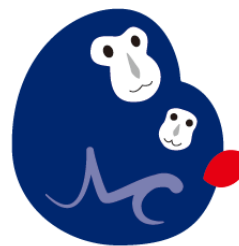


# F A X 送 付 状



JAPAN MONKEY CENTRE

送信先 報道各位  
送信枚数 本紙を含めて 2枚  
送信日 2018年 11月 30日

## 大型類人猿の脱出を想定した対策訓練を実施します

本格的な寒さがやってまいりました。皆さまお元気でお過ごしのことと拝察いたします。

さて、日本モンキーセンターでは今年も**大型類人猿脱出時対策訓練**を実施いたしますので、お知らせいたします。実施日は**12月5日(水)**です。

2000年8月19日に起こしたゴリラの脱出事故から18年が経過しました。日々、反省し業務を進行するため毎年訓練をおこなっています。世代交代の波もあり、当時を知るスタッフがほとんど居なくなりました。この訓練は、私たちの仕事が、常に「危険動物を扱う仕事」と認識し、緊急時に一人一人が何をするか、どう連携し行動するかを確認するとともに、現職員全員が過去の事故を把握する目的に行います。

例年、ゴリラが脱出するという想定で実施してまいりましたが、今回初めてチンパンジーが脱出する想定で実施します。対策本部からの指示で園内を搜索、連携して捕獲するまでを行います。過去の過ちを繰り返さないように、スタッフ一同この訓練で気を引き締めます。

**実施日：2018年12月5日(水) 雨天決行**

**時間：13:00~13:45**

**参加者：モンキーセンター全職員(約30名)**

**想定：集中豪雨により、園内施設が崩壊。アフリカセンターよりチンパンジーが逃走脱出。搜索班、麻酔班、避難誘導班、救護班に分かれ、チンパンジーの搜索と捕獲、お客様の誘導、救護をおこなう。**

### ◇訓練紹介

日本モンキーセンターは、毎年2回の訓練に真剣に取り組んでおります。1回は計画担当者1名以外、想定はもちろん日程も時間も知らされず、突然実施する「**招集訓練**」です。休みの職員は携帯電話などでモンキーセンター到着までの時間を報告するなどして、よりリアルなデータを収集し、万が一に備えます。もう1回はある程度の想定を元に、ほぼ全職員が参加して実施する「**総合訓練**」です。

今回の訓練は「**総合訓練**」になります。総合訓練では30名以上の職員が参加し、動物の搜索、避難誘導、救護、や連絡など、それぞれの役目に応じて訓練に参加、問題点の洗い出しなどを行います。捕獲にはサスマタ、捕獲ネット、催涙スプレー、麻酔銃などを用います。(※麻酔銃は法律により模擬銃を使用します。)

※脱出したチンパンジーの1頭役(飼育スタッフ)がどのような行動をとるか、主要スタッフ以外には周知していません。脱出場所はアフリカセンター、捕獲場所は園内ケヤキの森を想定しています。

※訓練では、チンパンジーに接触したスタッフ1名が負傷し、救護班が救護と搬送をおこないます。

※当日は休園日です。

※訓練開始10分前に入園ゲート入って正面のビジターセンターにお集まり下さい。

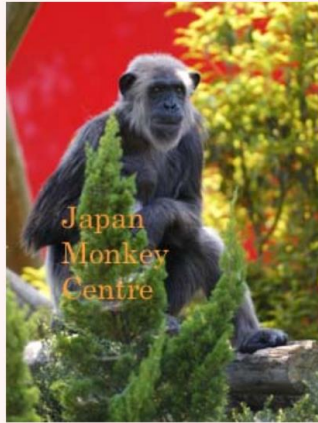
※逃走経路などの詳細の訓練情報を、ビジターセンターでお渡しいたします。

### 本件に関するお問い合わせ先

〒484-0081 愛知県犬山市大字犬山字官林 26 番地  
公益財団法人日本モンキーセンター  
TEL : 0568-61-2327 FAX : 0568-62-6823 メール : info@j-monkey.jp  
担当 : 附属動物園部 坂口、星野、山田 学術部 江藤

【資料:チンパンジーについて】

## チンパンジー



英名 Chimpanzee  
学名 *Pan troglodytes*  
CITES |  
IUCN EN

分布



セネガルからタンザニアにかけての赤道  
アフリカ

会える場所

**アフリカセンター**

- 現生種ではヒトにいちばん近縁な霊長類。
- 複数のオスとメスからなる数十頭の複雄複雌集団をつくる。生まれた子供は、オスが集団に残り、メスは性成熟に達すると群れを出て他の集団へ移籍する。
- メスには発情周期があり、発情期には性皮が腫脹する。
- 果実を主に食べる。しばしば、アカコロブスなどの動物を集団で狩り、肉を食べる。
- 樹上、地上をひろく利用し、地上ではナックル歩行で移動する。

【資料:昨年の様子】

